

平成 27 年度 第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会 会議録

1 日 時 平成 27 年 11 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 43 分

2 会 場 三条東公民館 多目的ホール 1

3 議 題

- ・ 三条市食育の推進と農業の振興に関する計画（案）について

4 出席状況

(1) 出席委員

栗生田会長、高野副会長、村山委員、佐野委員、山寄委員、外山委員、星野委員、坂井委員、太田委員、坪谷委員、佐久間委員、小山委員

(2) 欠席委員

神田委員、高橋委員、清水委員

(3) 事務局職員

渡辺福祉保健部長

長谷川経済部長

健康づくり課 関崎課長、田村室長、小柳主任、大泉主任

農林課 藤澤課長、清水課長補佐、渡辺室長、渡辺係長

(4) 傍聴者 なし

(5) 報道機関 なし

5 開 会 午後 1 時 30 分

清水課長補佐	それでは、会議に先立ちまして資料の確認をさせていただきたいと思えます。まず、本日の資料につきましては、事前にお送りしてあります資料「三条市食育の推進と農業の振興に関する計画（案）」になりますが、皆様、お持ちいただいておりますでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは、会長お願いします。
栗生田会長	これより第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催します。 出席状況について、報告します。 委員 15 名のうち、神田委員、高橋委員、清水委員が欠席となっており、現在 12 名出席ですので、本審議会規則第 3 条の 2 に基づき会議は成立しております。
栗生田会長	それでは、会議に入ります。本日の議題は次第のとおり「三条市食育の推進

	<p>と農業の振興に関する計画（案）」の1件であります。</p> <p>そこで、計画（案）の説明につきまして、「第1章 計画の概要」と「第2章 計画の取組の方向性」については、前回の会議において骨子（案）の中で説明のあったものを文章でまとめたものであります。</p> <p>本日は「第3章 施策の展開」から説明を受け、質疑を行い、その後全体を通して意見を受けてまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>（異議の発言なし）</p>
栗生田会長	<p>それでは、そのように進めてまいりたいと思います。</p> <p>「第3章 施策の展開」について説明いただきますが、長くなりますので、まず「1 食育の視点 食を通じた健康づくり」について、次いで「2 食育と農業の視点 食と農で豊かな暮らしの実現」というように、順次区切って進めていきたいと思っています。</p> <p>では、「1 食育の視点 食を通じた健康づくり」について、事務局説明を願います。</p> <p>（第3章 1について関崎課長説明）</p> <p>※脚注については後日記載する旨を補足</p>
栗生田会長	<p>今ほど説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたら、お願いします。</p>
高野副会長	<p>資料13 ページ1行目の「眠育」とは何でしょうか。</p>
田村室長	<p>眠育とは、食育の他、木育、読育等様々な視点で子どもたちを育むという考え方がある中で、睡眠に視点を当てた取組です。生活のリズムを食と睡眠とともに整えるという取組を進めていくものです。</p>
高野副会長	<p>「早寝早起き朝ごはん」のようなものですね。分かりました。</p>
栗生田会長	<p>眠育ですが、大人でも早く寝ることで成長ホルモンが出るので疲労回復や老化防止になります。子どもから大人まで睡眠が大切であると言われていています。</p>
外山委員	<p>「眠育」という言葉をここで初めて聞いたのですが、世間一般では知られている言葉なのでしょうか。</p>
田村室長	<p>公でどの程度使われているかはしっかり確認しておりません。調べてみると</p>

	インターネットなどではすぐに出てきますし、三条市では総合計画の子育て支援の部分に掲載しています。
佐野委員	栄養士会では保育園や幼稚園にキッズ食育講座を行っています。早寝早起きをテーマに保護者や児童を対象に取り組んでいます。講話では、太陽の光を浴びて人間の体は目覚めるという話をしていますが、そこに眠育を付け加えて話をした方が良いでしょうか。
田村室長	栄養士会さんがされているような取組を、私たちは言い換えて「眠育」と言っています。名前を変えなくても良いと思いますが、睡眠という考え方を入れていただけるとありがたいです。
佐野委員	早寝早起きを変える必要はないけど、眠育を絡めた生活リズムを整える取組ということで睡眠について一言入れるような考え方で良いでしょうか。
田村室長	今までよりは睡眠が重要なポイントであると捉えていただき、良い食べ方につながるように取組をお願いしたいと思います。
太田委員	12 ページに「自然と健康になれる食事」とあるのですが、どのような食事をイメージされているのでしょうか。
田村室長	例えば外食は、味や価格が優先されるかと思います。しかし、飲食店が健康の視点を持ってメニュー構成することで、市民は価格の安いものやおいしいものを選んだら健康に良かったということになります。具体的に言いますと、ラーメン屋に行ってスープの味が濃かったら薄くしてもらい、サイドメニューにみかんやサラダが付く等プラスのサービスを加えることで、無理なく健康に良い外食ができるようなイメージです。
栗生田会長	委員と事務局の質疑だけでなく、委員同士の意見交換もよろしくお願ひします。今日は説明ありませんでしたが、9、10 ページの実態調査については中身があって素晴らしい調査結果だと思います。これを今後の地域活性化に役立てて欲しいと思います。人間が生きていくために食事はとても大切であり、それを通じて心身だけでなく、地域も育成するというベースが記載されていると思います。素晴らしいデータを是非活用していただきたいと思います。
高野副会長	先日、食生活改善推進委員として離乳食作りの手伝いに行った際、参加者が少なかったです。離乳食だけでなく、糖尿病予防教室もあると思うのですが、市としては参加者の増減をつかんでいるのか聞かせてもらいたいです。

田村室長	離乳食相談会については、子どもが僅かに減っていますが、参加率については微増しています。教室周知のポスターを産科医院や小児科に掲示してもらい、3割強の参加率となっています。
高野副会長	糖尿病予防教室等もあるかと思いますが、そちらの参加率はどうか。
大泉主任	参加率は少なくなっている状況です。
山寄委員	9ページの医療費の推移を見ましても、右肩下がりになることが大事だと思います。先日、講演で「静岡県で国保会計が赤字から黒字になったところがある」と聞きました。我が家から直さなくてはいけないですし、他人事にしないで、真剣に考えなくてはいけないと思いました。
関崎課長	当課は国保も担当しておりますが、加入者は高齢化しており、医療費は増加傾向です。そのため、私どもは食事と運動の大事さを伝えることに力を入れております。三条市の健康実態を見ましても高血圧などの生活習慣病が増えており、関係団体と連携して高血圧予防の取組や健診結果説明会の個別指導に取り組んでいます。先ほどの糖尿病予防教室には声かけしても来てくれない現状があります。保健師等が個別に訪問や電話相談することで、健康な三条市を作っていこうと考えています。
粟生田会長	先日、國定市長の話聞く機会があったのですが、市の保険財政は大きなウェイトを占めていて、市民が健康になることで、保険財政は圧縮することができます。そうなれば市の財政も良くなり、市民も健康になり、お互いウィンウィンの関係になります。そういう意識が國定市長にはあることが分かり、高い目標を掲げていると感じています。他の行政区域ではこのように食育と農業が一緒になっているところは無く、この会議は素晴らしい会議だと思っています。
山寄委員	数字で出てくると三条市の素晴らしさが良く分かります。真剣に考えていくべき問題だと思います。
外山会長	私はもう30年来この食生活改善推進委員を続けて活動していますが、数値が下がってくることはありません。どうして改善しないのかを市の方に聞きましたが、それは無理と言われたことがあります。市はそういう風に捉えているのかがっかりしました。また、高齢者の病気を予防するために前の世代に働きかけることは分かりますが、結果が出るのは相当先になってしまうと思いま

佐野委員	<p>す。成果が見えなくて一回の食事が無いがしろになる、という積み重ねになってしまいます。がんばって取り組んでいるのだから、もう少し成果が見えると良いなと考えています。</p> <p>情報提供ですが、第一中学校で地域国際文化交流会というのが5年くらい開催されています。当初、栄養士会の個人に連絡が行き、そこから栄養士会に依頼がきました。この交流会は毎年11月の20日前後の土曜日に開催され、10から20くらいの講座が組まれます。私たちは、「簡単クッキング」として依頼を受けており、他にも英語、書道、絵画、バルーン、ゲートボール等各教室を使って講師が来て、1、2時間くらい講義を行います。講師は地域の方を中心にしています。講座だけでなく子どもたちとも交流してもらいたいとの趣旨があり、主体は生徒会で、知識を持った高齢者と交流をしたいということです。保育所や小学生は取組がありますが、中学生になると少し手を離してしまいます。1年に1回くらい外からの講師の話聞くというのも新鮮だと思います。</p>
栗生田会長	<p>教育現場の話が出ましたが、坪谷委員はいかがでしょう。</p>
坪谷委員	<p>質問ですが、主要施策「米飯食の推進」について、「特に朝食として米飯を主食とする割合が低い」とありますが、確かに統計的に数値を取られていて、感覚的に見て、低いことは分かります。しかし、全国的に見て低いのでしょうか。目標値が後ろにあります。例えば「米飯を主食とした朝食習慣の啓発」が本当に数値を上げるための取組になるのでしょうか。正直言って判断しかねます。啓発は大事ですが、リターンが返ってきにくい部分です。朝食で米飯を出すかどうかというのは、米飯食の良さを理解しているかどうかだけなのでしょうか。私見ですが、パックの中に健康に良い食事が入っていて、それを電子レンジで加熱すると食べられる、それを三条市が食育推進室の印でもつけて安価で販売するとなれば売れますよね。目標値の割合も上がるのではないのでしょうか。啓発だけが事業の方向になるのでしょうか。啓発の場面として学校が利用されると思うのですが、それについては何ら異議あるものではありませんが、啓発はしたけど数値は上がりませんでしたという評価になるのかなと思いました。</p>
関崎課長	<p>啓発に対する成果指標をどうするのかは難しいところです。朝食に米飯を主食とする場合は、主菜副菜がそろっている人が多いですが、朝にご飯を炊いて作るということは忙しい主婦にとって大変だと思います。高齢者の食と暮らしの調査結果から、米飯を食べる割合は一人暮らし世帯では低く、簡単な菓子パンを食べる人が多いのではないかと思います。一人分だけ作っても余らせてしまう等の実態もあります。そういった状況の中で、先生の言われるような電子</p>

<p>高野副会長</p>	<p>レンジで簡単に加熱するだけのものに頼ってしまうのだと思います。朝食をしっかり食べることが大事であることを踏まえつつ、簡単にできるものがないかというのは、皆様から御意見をいただきながら、指標をどうするかということも踏まえて検討していこうと考えています。</p> <p>市の食育の取組は長年にわたって一生懸命に取り組んでいて、すごいなと思っています。目に見えない成果は出ていると思いますし、意識をして目を向けてみると多くの資料があります。どうせ変わらないというのではなく、理想を高く持ってあきらめないということが大事だと思います。子どもを育てるのは未来を育てることです。人間を人間らしく育てる人格形成は食から始まっていると思います。これに勝る教育はないと思いますので、こういった活動を通してみんなが協力しているということはずいぶんいいことです。これからもどんどん意見を出し合って、理想に向かって進んでいきたいと思っています。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>一つ提案させていただきたいのですが、食事と運動は両輪で、一緒にしないと健康にはならないというのはみなさんご存知だと思いますが、啓発しても市民はなかなかやらないのではないかと思います。この中でも、意識して週に1回ウォーキング等をしている人はどのくらいいるのか分かりません。恐らく、忙しい、時間が無い等でできないのが現状だと思います。例えば、体育文化センター等を利用して、元旦マラソンというものがありますので、何回出場したとか、何キロ走ったという人に対して市長が表彰するなど目に見えるような成果を出したほうが良いと思います。</p> <p>また、モニターを活用して運動で血圧が下がった等の成果が出ればみんなすると思います。ただ情報を出しているだけではキャッチできない人もいます。様々な年代を集めてモニターになってもらえば、効果があるのではないのでしょうか。前回提案した三条市民全就農者計画の次に三条市民全ランナーズ計画ができるのではないかと思います。運動は生活習慣病の予防にもなりますし、運動することで疲れて夜ぐっすり眠ることもできると思います。その総合的なものを考えないと目標は達成できないと思います。</p>
<p>小山委員</p>	<p>子どもを見ていると、良く動いて良く寝ているので良い見本だなと思います。</p>
<p>山寄委員</p>	<p>以前、まんま塾で鎌田先生をお呼びしたときも、長野県は健康づくりが遅れていましたが、現在では減塩等にながらんでいることを聞きました。同じ長野県の真田町では、肉は家庭に任せて学校給食では魚や大豆製品等だけにしたそうです。以前は学校が荒れていて、授業もままならなかったそうです。給食から肉を排除したら、授業も良く聞出し、栄養改善できたという成果を発表して</p>

	<p>いました。そのような思い切ったことをやらないと、啓発だけではなかなか変わらないと思います。三条市の学校給食ももっと思い切ったことをやらないといけないのではないのでしょうか。将来の医療費が変わると思います。</p>
高野副会長	<p>変えることにはエネルギーが必要ですよね。</p>
山岸委員	<p>もちろん、真田町では実施に当たり、保護者、教育委員会、先生方から猛烈な反対があったそうです。それをひっくり返して実施されたと聞いています。</p>
坂井委員	<p>私の学校の PTA 役員は女性が多く、みなさん仕事をしています。時間も無くてしっかり食事を作っている余裕が無いように感じています。きちんと作るばかりではなく、手軽なものを活用することも伝えていただけると良いです。</p>
佐野委員	<p>これまで想定される主な取組の部分について話し合われていましたが、この取組の中に具体の実行手段として、簡単朝食の販売やお膳のかたちを周知する方法などがあるのですよね。</p>
関崎課長	<p>はい、簡単朝食レシピなどを事業で配布させていただきたいと思います。朝食が大事であるということは分かっているけど、なかなかできないという方のために、冷凍保存の方法を分かりやすく伝えるなどを食育として伝えていきたいと考えています。</p>
外山委員	<p>14 ページの想定される主な取組の中に一つだけ「郷土料理の指導者育成」とあり、他の書き方も異なるのですが、何か考えがあるのでしょうか。</p>
田村室長	<p>郷土料理を伝えられる人を育成していきたいと考えています。</p>
栗生田会長	<p>意見もそろそろ出尽くしたようですので、次へ進みます。 続きまして、「第3章 2 食育と農業の視点の視点 食と農で豊かな暮らしの実現」について、説明を願います。</p> <p>(第3章の2について藤澤課長、渡辺室長、渡辺係長説明) (佐野委員は他会議のため退席)</p>
栗生田会長	<p>今ほど説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたら、お願いします。</p>
高野副会長	<p>18 ページの日本型直接支払制度とはどのようなものなのでしょうか。</p>

藤澤課長	<p>農業の持つ多面的機能は、食料生産以外に国土保全、水源かん養、自然環境の保全といった機能を言います。維持していくために、農地の維持活動である水路の掃除や農道の修繕に加えて農村地域における共同活動として植栽や花植え等の景観保全の活動を総称して言います。それを1とすると、生産条件が不利な中山間地域の農家に対して不利条件を補正するものが2、環境保全型直接支払制度として、環境に優しい農業をする農家を優遇する制度が3、これをあわせて日本型直接支払制度といます。</p>
粟生田会長	<p>今まで資本主義社会では、価値の無いもの又は価値を認められてなかったものに新たに価値を与えて、それについて評価していこうということですね。</p>
星野委員	<p>農業サポーターはいると思いますが、里親制度に対してやりたい人や受け入れる人の情報はつかんでいるのでしょうか。</p>
渡辺係長	<p>農業サポーターについて、隣の新潟市で実施しておりまして、新潟市では市内の方しか受け入れていませんが、実は三条市民から問合せが来ているという情報がありました。要望はあると聞いています。</p> <p>里親制度については要望調査まで行っていませんが、新規就農者確保の動きをする中で、農業をやりたいという人が出てくると思います。里親については難しいところがありますので、こちらとして里親を募集することになるかと思えます。特に中山間地域については条件が厳しいので、関係機関と連携しながら進めていかなくてはいけないと考えています。</p>
星野委員	<p>群馬の昭和村では東京から全くのサラリーマンのような若い人たちが集まっているそうです。そこは里親制度がきちんと整っているようです。農業がやりたいのだけど、金がかかる等問題があるとなかなか進まないと思うので、里親制度を上手に活用して農業をやりたい人が集まるよう、充実を図った方が良くと思います。是非、里親を三条市でたくさん作って、それを全国にアピールするような形をとってもらいたいと思います。</p>
藤澤課長	<p>里親を考えてみましたが、今後さらに検討が必要なことだと考えています。例えば今、お話いただきました昭和村の件につきまして、里親になっていただける方がどのくらいいるかをつかんでおりませんので、わからない部分もありますが、三条でもできる部分があるかと思えますので、参考にさせていただきます。</p>
粟生田会長	<p>是非IターンやJターン等を受け入れる下地作りをしていただきたいと思います。</p>

坪谷委員	<p>どれだけ需要があるのか分かりませんが、地域農業に関する理解の促進について、学校で学ぶ子どもたちには農業は生活、総合、社会等で扱われます。農家から話を聞きたい場合に、そういう需要に対してお金や人材の支援をいただければ、学校が農業に対する学習をする幅が広がったり深くなったりすることができ、地元にもこだわることもできると思います。例えば、農業の現場を見に行きたい時にバスを借りるお金を補助していただけるなどがあると学校はありがたいと思います。そのようなことも検討いただけるとありがたいです。</p>
山寄委員	<p>今ほどの件について、前回もお話したのですが、是非農業を授業としてできるようになると良いと思っています。農家としても手伝いたいと思っています。授業として扱っていただけるような働きかけをお願いしたいと思っています。</p>
坪谷委員	<p>ありがたいお話だと思います。先ほど郷土料理指導者育成という話もありましたが、それに専門的に従事される方が1, 2年生の前に出て分かりやすく話すのは難しいと思います。小学生に何を伝えていくかという視点を現場と検討していただけるとありがたいと思います。私の学校に毎年おいでくださる稲作農家の方は、素晴らしい授業をしてくださる。教えるということにたけていらっしゃると思います。農業者としてはもちろん、指導者としても素晴らしい方です。そういう方は三条市にたくさんいらっしゃるのだと思います。そういった方とのネットワークを、例えば教育委員会等に電話1本で頼めるとなると現場もやりやすいのではないのでしょうか。一朝一夕でできるものではないと思いますし、現場も努力しないとイケませんが、手法の一つとして考えていただければと思います。</p>
田村室長	<p>今ほどの件につきまして、現在、生産者交流会を市で、職場体験での農業の受け皿を三条まんま塾で、やっております。もう少し精度を高めて連携良くしていく必要があると思います。食文化の伝承の欄に米作りと稲作文化の継承とありますが、その観点を取り入れた取組を考えております。</p>
村山委員	<p>昔、小学校の先生が来られて牛の勉強をしたいと言われた。しかし、実施までの段取りがすごく長かったです。その10年くらい前に保育所の子どもたちがたまたま来て、牛の分娩を見ていきました。子どもたちはお昼の時間を押してまで見学し、感動して手紙をくれました。その様子を小学生にも見せたくて「牛が分娩しそうになったら連絡するので、来てください」と学校の先生に言ったら、それはできないと言われました。それが非常に残念でした。</p>
山寄委員	<p>三条まんま塾で記念DVDを作ることになり、資料を三南ライブラリーに確認に行きましたら、昭和40年代の農業の資料ならあるということでした。それ</p>

	を聞いてがっかりしました。現場と大きくかい離していると思いました。
外山委員	坪谷委員に伺いますが、農業に関する学習は学校の中のどの科目にあって、1年のカリキュラムの中でどのくらいの時間があるものでしょうか。
坪谷委員	教科で言えば、生活、社会、総合になります。私の学校では、ほぼ全ての学年でなんらかの農作物に関わる機会があります。地域の方の御協力のもと、さつまいも、メロン、野菜づくりについて体験させてもらっています。非常に恵まれた環境にあると思います。子どもたちも自然に農業を学ぶことができていると思います。
栗生田会長	まだ御意見があろうかと思いますが、時間も限られておりますので、次に進みます。続きまして、「第3章 3 農業の視点の視点 持続可能な農業基盤の確立」について、説明を願います。
	(第3章 3について藤澤課長、渡辺係長説明)
栗生田会長	今ほど説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたら、お願いします。
山寄委員	21 ページの土地改良事業について、三条の場合、米農家の体力が落ちていまして、土地改良区から農業施設の維持管理を担ってもらっています。農家も組合員になっています。御存知の方は少ないかと思いますが、16年の水害の際、今井野新田にある貝喰川排水機場のポンプがフル稼働したおかげで被害が抑えられたということです。担当者の話では、壁から水が漏れていて、早く修繕しなくてはいけない状態のようです。農家だけの力では賄いきれず、また農業だけでなく市民全体の問題になるので、お金の使い方や市民の意識改革が必要だと考えています。
栗生田会長	新潟の地域的な問題として「排水」というものが都市機能そのものも支えているということですね。農業の人は宣伝が下手なので農業が支えていることをもっと伝えないといけませんね。
山寄委員	三条まんま塾でも見学会等をしてはいますが、なかなか参加者は伸びません。しかし、参加した方からは大変勉強になったと好評です。市民のみなさんから一人でも多く参加していただきたいと思います。
栗生田会長	農業の持つ多面的機能について情報を共有するということに御尽力いただ

	ければと思います。
粟生田会長	<p>続きまして、「第3章 4 継続した取組」及び「5 成果指標」について、説明を願います。</p> <p>(第3章 4及び5について関崎課長、藤澤課長説明)</p>
粟生田会長	<p>今ほど説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたら、願います。</p>
粟生田会長	<p>広域連携における農業機械利用活用についてですが、下田地区であるとか、中山間地区であるとか、平場との作期をずらした機械の利用ということですが、例えば米であれば、早生、中生、晩生という平場だけの連携もあるのではないかと思います。その意味での基盤の充実であるとか、農地の集積であるとかもあり得る話でしょうか。</p>
藤澤課長	<p>御指摘のとおりでございます。時間がずれば良いので、平場において品種で使い分けすることも想定しています。</p>
太田委員	<p>26 ページの一番下に主体的に食育に取り組んだ事業者の数とありますが、主体的というのは判断が難しいと思うのですが、何をもって主体的というのでしょうか。</p>
田村室長	<p>判断基準については今後検討していく予定です。</p>
高野副会長	<p>広域連携による農業機械利用についてですが、今までも機械の貸し借りはあったと思いますが、これは今後行政が応援するというのでしょうか。</p>
渡辺係長	<p>農業者同士の貸し借りはそれほど無かったのではないかと思います。例えばJA が中間に入って、大豆を収穫する機械を使うとか、米の直播機械を使うとかはあったと思いますが、個々人の調整は無かったと思います。個人が農業を続けたいけど、農業機械にお金がかかるので続けられない、ということ無くしていきたいと考えています。機械の負担をなくして現在の営農体制を維持していきたいということが目的です。</p>
高野副会長	<p>コーディネートするというのでしょうか。</p>
渡辺係長	<p>そうですね。行政ですというより、業者等にお願いして続ける形が有効と</p>

	考えています。
小山委員	地産地消推進店ですが、料理店が全て入るのでしょうか。
渡辺室長	三条では現在 204 店あります。直売所、スーパー、小売店などがあります。お店の方から申請いただくものです。農産物の使用期間ですとか、農産物の生産場所によって認定しています。
小山委員	誰でもなれるのでしょうか。
渡辺室長	申請して基準に合致すれば推進店になれます。
佐久間委員	27 ページの取組指標で、地場農産物の売上額についてですが、どちらの店舗のものなののでしょうか。また、売上額を 1,000 万円上げる指標が出てきた理由を教えてください。
渡辺室長	スーパー 20 店舗、直売所 30 店舗近くありますが、それらの売り上げ増を図るため目標を計算したものです。
佐久間委員	これから 1,000 万円上げるために値上げだとか利益追求等をするということでしょうか。
渡辺室長	値上げではなく、消費拡大の取組をしていきたいと考えています。
星野委員	ただ今の件ですが、市場は入っていないのでしょうか。
渡辺室長	市場関係は入っておりません。
栗生田会長	続きまして、「第 4 章 計画の推進体制」について、説明を願います。 (第 4 章について関崎課長説明)
栗生田会長	今ほど説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたら、願います。 この会議の中身についても公表して、事業が円滑に進むようにするということですのでよろしく願います。
栗生田会長	続きまして、全体を通して御意見、御質問等がございましたら、願います。

外山委員	文書の下の方に言葉が抜き出してありますが、説明がありません。できる部分については自分で調べましたが、できれば説明があったほうがありがたいです。
関崎課長	準備が悪くて申し訳ありませんでした。
星野委員	先ほどの食文化の伝承について、OBを活用してはどうかと思います。80歳といっても元気な人はたくさんいますし、学校や保育所で活躍できると思います。育成も良いですが、OBも活用していただければと思います。
関崎課長	シルバー層から中間層に伝承していくことも含めて考えたいと思います。
栗生田会長	その他ございませんでしょうか。 他になれば、以上で終了させていただきますが、いかがでしょうか。
山崎委員	最後に、みなさんの手元にチラシがありますが、毎年恒例の「しみん食育と農業のつどい」に川島隆太先生という有名な方が来てくださいます。今日の話に出ていました眠育や食育のことを話されますので、お時間のある方は、是非参加してください。
栗生田会長	それでは、この計画（案）の今後のスケジュールについて、説明をお願いします。
清水課長補佐	本日の御意見、御提案を踏まえまして、今後パブリックコメントを経て、案を調整した後、本審議会から御審議いただきたいと考えております。その際は連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。
栗生田会長	では、以上を持ちまして、平成27年度第2回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。

6 閉 会 午後3時43分